

令和8年度（4月入学） 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科
博士前期課程（修士課程） 一般入試（第Ⅲ期） 口述試験の概要

専攻名	口述試験の概要
応用生物学専攻	受験者が現在取り組んでいる卒業研究の内容と、大学院進学後の研究計画および発展させる点についての説明を課した。また、これらについての質疑応答を行い、受験者の生物学に関する研究能力、プレゼンテーション能力、さらに、学術的コミュニケーション能力を考査した。
材料制御化学専攻	受験者がこれまでの研究内容又は今後の研究計画に関して口頭発表を行った。その後、それに準ずる教育的研究に関わる専門知識等についての質疑応答を行った。
物質合成化学専攻	卒業研究の内容について簡潔に説明できるか、有機化学の学力が十分か、博士前期課程（修士課程）における熱意があるかを評価した。
機能物質化学専攻	志望理由、現在行っている卒業研究の内容、大学院での研究計画についての説明を求め、その内容について質疑応答を行った。これにより、研究する分野の基礎及び専門的学力について評価した。
情報工学専攻	受験の動機、入学後の抱負などに関する質問の後、受験者が大学において身につけてきた学力・研究力を判定するために、現在の研究内容、今後の研究計画等に関する質疑を行った。
機械物理学専攻	現在遂行中の卒業研究や志望する分野における進学後の取り組みなどについて説明を求め、質疑応答を行った。また、志望分野の基礎となる4力学に関する基礎力について口頭試問を行った。
機械設計学専攻	現在遂行中の卒業研究や志望する分野における進学後の取り組みなどについて説明を求め、質疑応答を行った。また、志望分野の基礎となる4力学に関する基礎力について口頭試問を行った。
デザイン学専攻	（特定課題型・論文型） 志望分野及び関連分野の専門的学力を問うため、大学院での研究計画及びこれまで行なってきた研究活動についての説明を求め、それに対する質疑応答を行った。 （DDコース型） 志望動機及び志望関連分野の学力を確認するため、これまでの取り組みや大学院における研究計画について説明を求め、それに基づく質疑応答を行った。また、英語によるコミュニケーション能力についても確認した。
先端ファイブロ科学専攻	受験者の卒業研究およびその関連分野に対する基礎的理解をはじめ、本専攻での研究内容との整合性や進学動機、さらには将来の進路に対する意識（就職希望分野等）について試問した。また、自己PRやそれに関連する質疑、人物面、および研究への取り組み姿勢に対して試問した。
バイオベースマテリアル学専攻	志望分野及び関連分野の専門的学力を問うため、大学院での研究計画についての説明を求め、その後に物理、物理化学、生物学、高分子化学、高分子物理、有機化学の6つの分野から1つ選択し、その分野に対する質疑を行った。